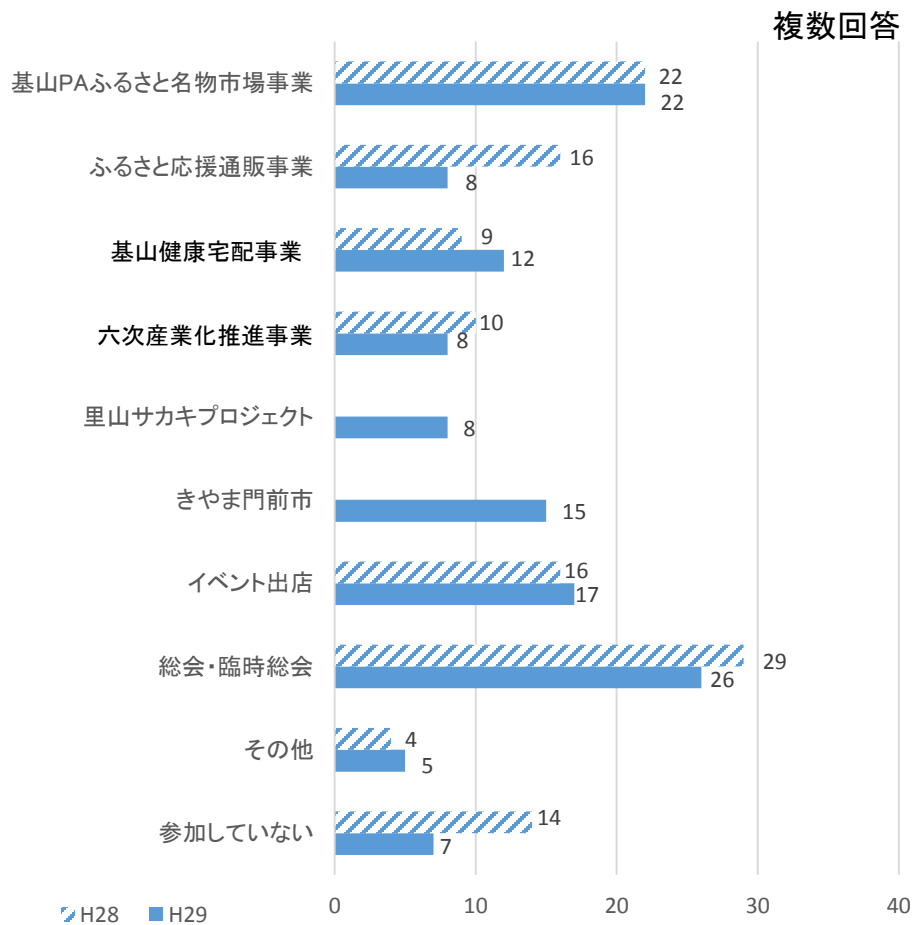


産業振興協議会 平成29年度アンケート結果の概要

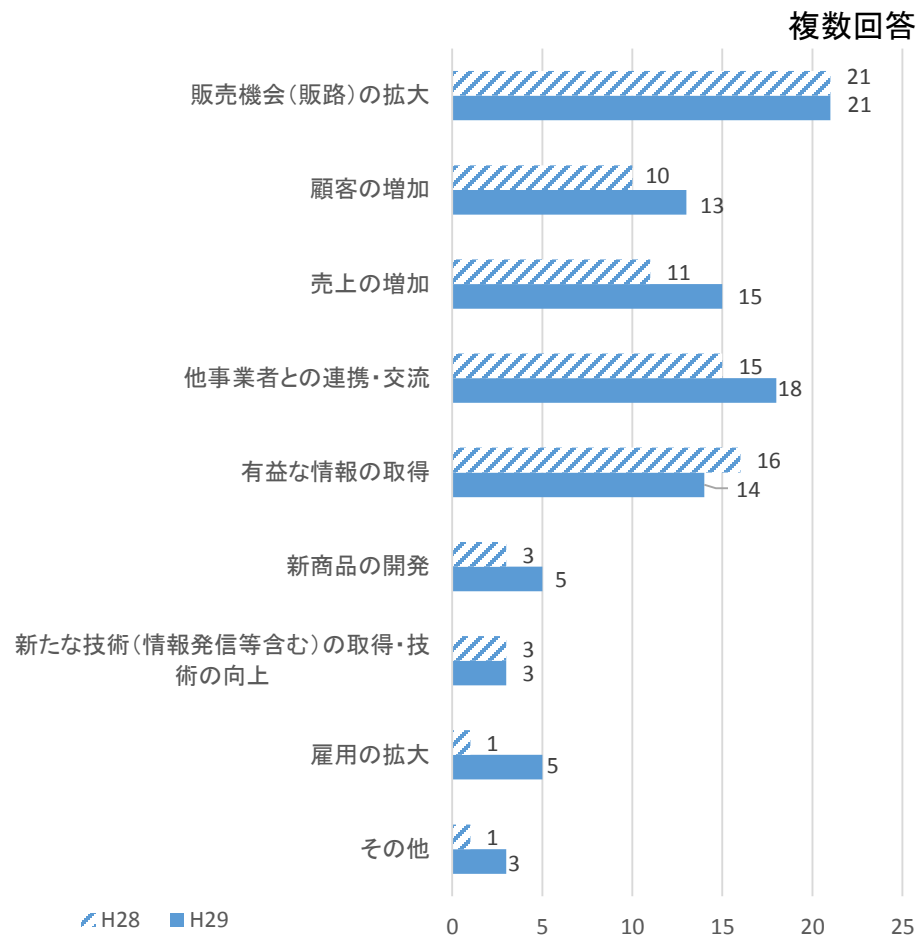
平成29年度の産業振興協議会の取り組みについて、会員の意見把握と次年度以降の計画立案のためアンケートを実施した概要は以下のとおりです。

会員81事業者にアンケートを実施し、回答は58件でした。(回答率72%)

平成29年度に参加した事業等



参加して得られたメリットは

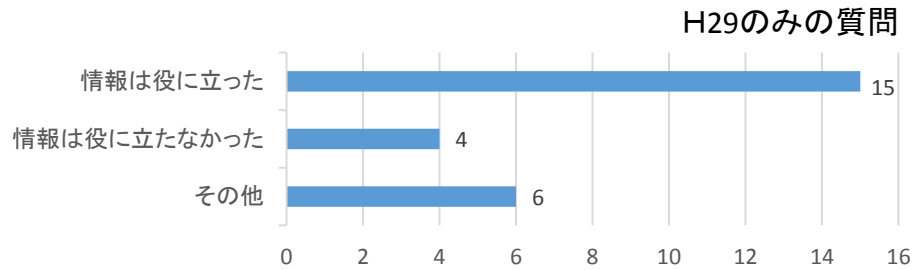


産業振興協議会 平成29年度アンケート結果の概要

平成29年度の産業振興協議会の取組みでは「メディア戦略」として、協議会、会員の取組みを広く消費者に知ってもらうため、ホームページに随時記事を掲載し、会員のフェイスブックなどのソーシャルメディアを効果的に連携させたメディア戦略を行いました。

また、協議会の今後の取組みに期待するものは以下のとおりです。

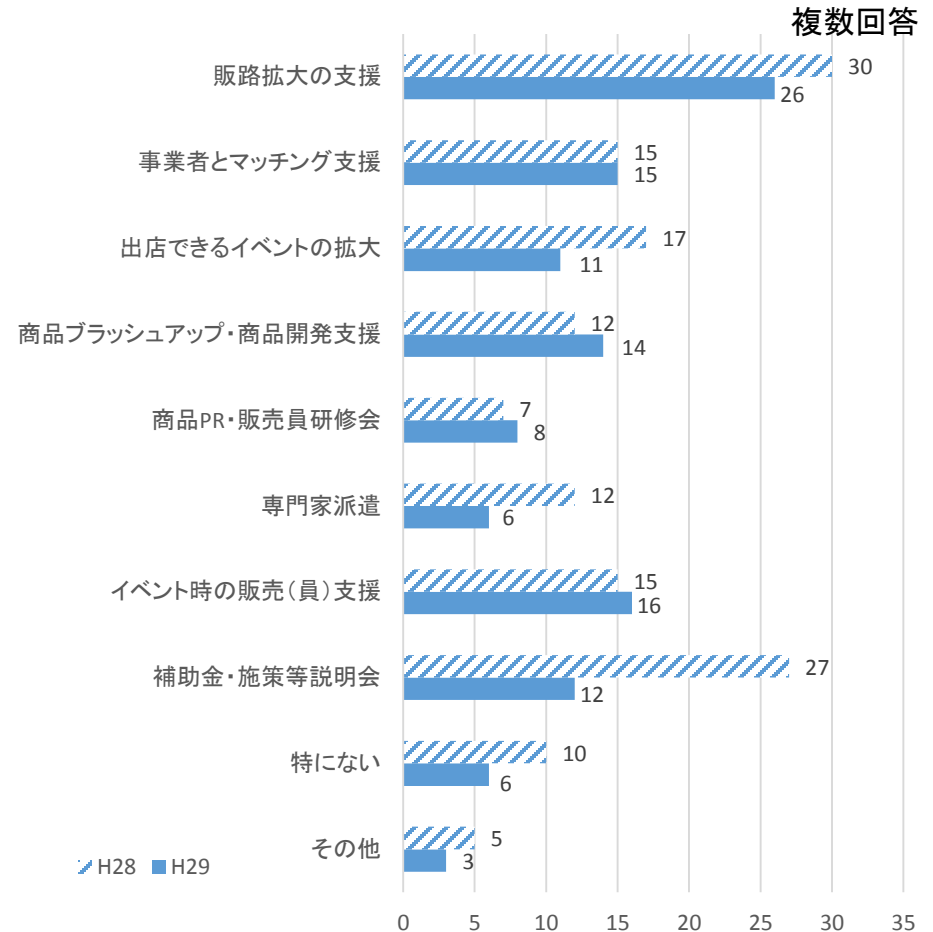
協議会のメディア戦略への感想



その他意見等

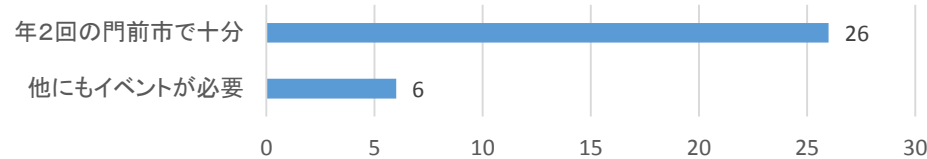
- 見られない
- サービス業なので
- 使わない

今後の取組みに期待するもの



協議会では、平成29年度に多くの会員が参加できる町内物販イベントとして、「きやま門前市」を開催し、平成30年度は、春・秋2回の開催(春は実施済)を計画しています。町内物販イベントの開催について、回数等を聞いたところ、下記のとおりとなりました。

H29のみの質問



イベント開催に関する意見等

- 門前市開催大変感謝している
- イベント出店で宣伝効果があった
- イベント等への参加により他事業者との交流も増え、新たな販売先で販売を開始できた
- 基山のふるさと名物市場の〇周年イベントなどしてはどうか
- 特に回数等は考えていないが、町をPRするには物販イベントがもう少しあってもいいのではないか
- きやま門前市は生産者が自ら販売しなければならないので、委託販売方式で手数料2%を取っていただいて販売してもらえないか
- イベント単体ではなく、継続的に購入者、訪問者へアプローチする仕掛けが必要。その何かは個々で模索していく他ない
- 年5回。総合公園等。駐車場も広いし、町民が集う場所で開始してはどうか。大興善寺はどうしても春と秋の集客に偏る。定着すればいいが
- 年5回。基山駅前、JA、基山モール商店街、図書館前などで年間5回くらいイベントをしてもらおうと、商品の認知をしてもらえとおもう
- イベント等の物販につながる商品開発を検討していただきたい
- 毎月開催しなければ名物にはならないのではないか
- 基山町をPRする手段でもと思うので、観光を目的にするのであれば、大興善寺の開園の日を固定させた方がいいと思う
- 観光客以外のイベント等での基山の農産物の販売はあまり売れていないのではないか。農産物(野菜)以外は少しは売れると思う
- 町外のイベント等での販売について、初回の人の場合は、販売のノウハウ等の支援があれば良いと思う

協議会事業に参加しての意見等

- 参加できるような事業を行っていない
- 他業種との交流ができた
- 作物を作っても販路の心配をしていたが、ふるさと名物市場への出品により安心して出荷できる
- 町内の事業者さんと事業を通じて知り合ったり、久しぶりに会えて、近況を話し合えたりできた
- 自社商品のPRができた
- 基山町で行われている産業振興事業の現状の取組みや概要について知ることができた
- 商品のブランド化を図ることができた
- 販売活動を通じて他社と連携して行うキッカケとなった
- 他社とのコラボ商品の展開により、予定より長く販売期間が続くとともに、従来商品の売上を伸ばした
- 博多での出店
- 商品の販売促進事業を期待する
- 販売の機会をいただき、意見が聞けたり提案がいただけたりしてありがたい。売上もあがった
- 金融機関として基山町の方向性等が理解出来た
- 情報収集ができた
- ふるさと名物市場の営業時間を4月～9月の土、日曜日だけでも1～2時間延長してもらえないか。店員さんから在庫等の連絡を5日に1回ぐらい連絡してもらえないか
- 協議会に参加する方の意見を聞いて、協議会の組織及び取組について検討が必要
- ふるさと名物市場の売場に冷房をいれてほしい
- 町内でのコラボ商品の開発による連携商品の開発を進めたい
- 基山町ジビエ解体処理施設がオープンしたので、商品化させたらホームページでPRをしてほしい
- 各種の取組みについては、ホームページでの情報提供をしてほしい